

議会報告会実施報告書

開催日時	令和4年10月28日（金）18時00分～19時30分		
開催場所	浜益コミセン	聴衆	10名
担当議員	2班	遠藤、蜂谷、片平、米林、大野、金谷	

報告事項に関する質疑

- Q1 札幌市や小樽市は、プラ容器をリサイクル回収していますが近隣の市町村とごみのリサイクルで協力してやっていくのは難しいですか。
- A1 市町村で出たごみは、市町村で処理するのが原則となっています。広域連携とは再資源化した時に提携していける可能性が出てくるということです。
- Q2 絶対的貧困の子どもの写真、これは門真市の子ども達ですか。
日本での生活状態の子供たちですか。
- A2 これはアフリカのお子さんの写真です。発展途上国で多く見られる命の危機に瀕するような絶対的貧困の例として使わせて頂いています。
- Q2（再） そしたら載せることないよね。こういう状況が門真市で見られるということなのですね。
- A2（再） 日本のような先進国で多く見られる相対的貧困との対比で使わせて頂いた写真です。
- Q3 相対的貧困には、3種類（経済的、精神的、社会的）あるが石狩市で該当するものはあるのですか。
- A3 統計的数字は手元にありませんが、この環境で苦しんでいる方は確実にいらっしゃると思います。門真市を参考にして貧困の連鎖を断ち切るような仕組みを作りたい。
- Q4 こういう家庭の子どもだけじゃなくて、親も対象にして話し合う体制があるのですか。
- A4 困っている世帯に対する相談窓口があります。母子相談センター、子育て支援センターなど情報を集める窓口は色々ありますが横の連携が必要になってきます。相対的貧困は見えづらい状況にあり是正しなければならない問題がたくさんあるため、議論しながら効果的な施策が打てるよう支援していきます。

議会報告会実施報告書

意見及び要望等

- Q1 高齢者施設で働いています。昨年 12 月、大雪が降り、車が出入りできない状態で業者に話したら何センチ以上じゃないと、できない決まりがあるから市に言ってくれと言われた。
市に言ったら、入れるか入れないか分からないとの回答だった。どこに責任の所在があるのか。
人の命を預かっている仕事なのではっきりして欲しい。改善して欲しい。
- A1 夜の 11 時～12 時位にかけて、朝の降雪量が 10 センチを超えることが明らかな場合には、深夜から除雪体制に入ります。ふくしの里は市の施設なので市が責任を負わなければならない。救急搬送があった場合には、すぐ対応できる体制を心がけていかなければならない。
- Q2 公共の施設は市でやってもらえるのか、施設で手配しなければならないのか。
除雪よりも排雪が大変で人の手では間に合わない。施設で救急車が入れないと命に関わる。誰がどこに頼むのか道筋を立ててもらいたい。
- A2 市が行うものなので、今後も対応していきたいと思います。
- Q3 (仮称) 浜益学園は中学校の敷地を使うことが基本となっているが土砂災害警戒区域に一部掛かっており体育館、託児所も、がけ条例に掛かっているため安全性に不安が残る。子どもも職員の方も避難所として活用するのであれば安心安全に配慮して建てて頂きたい。
- A3 今後、教育委員会も含めて対策を打って、軽減できるものなのか、それとも根本的に別の場所を検討しなければならないのかを含めて、しっかり話し合っていきたいと思います。
- Q4 温泉がストップしている。水が出ない、機械部品が壊れている、部品は製造してないとの話もあり、悪い情報ばかりなので先に見える新しいことを言える雰囲気を作って欲しい。
- A4 以前から電動の水周り機械が老朽化していて更新時期が近く、計画はあったが 10 月 2 日に故障しその 5 日後完全閉館となっています。部品取り替えなので調達でき次第再開します。水中ポンプも年数が経っているので併せてやれば良いとの話もあるが市として予算を組んでどれだけのスピードを持ってやっていくのか詰めていきたい。見通しが立たないんじゃないじゃなくて区民に、しっかり示していくよう協力していきます。
- Q4 (再) 風評や風の便りでなく、明るいことを言ってもらえるようにして欲しい。
- A4 (再) 早く復旧できるように担当部所に働きかけていきます。

議会報告会実施報告書

- Q5 地元の自治会長として温泉に行って確認しました。業者に見てもらっており、故障したバルブは作っているが、コロナで物が入ってこない。そういう状況をもっと早く区民に知らせる必要がある。職員、社協、市、業者を集めて話し合ったら仕事が早いんじゃないか。
- A5 区民への発信が正確になされていないのが問題です。
期間の問題も含めて情報発信が必要だと思うので、そのようにしていきます。
- Q5 (再) 温泉のお湯は出るけど、水が出ないから塩泉で髪の毛を洗ったらバキバキになる。だから早く水のポンプ直して欲しい。早くまとめて区民に降ろした方が風評に惑わされない。
- A5 (再) しっかりやりたいと思います。
- Q6 教員経験者として私見を聞いて頂きたいと思います。子どもの貧困率 13%は決して低くない。
ヤングケアラ、不登校、虐待も多く絡んでいるだろうと思います。市全体、民間、企業もこぞって子育てをするんだということと、居場所が足りない。学校でできることにも限界がある。可能性を持っているのは起業家達だと思う。商業施設での居場所、見守れる場所は大きな安心に繋がる。石狩市の優れているところは、引きこもりサポートセンターまるしえに活動を委託していることです。市の中学生の不登校は 100 人を超えていると認識していますので、もう少しあってもいいのではと思います。
もう一つはキャリア教育の担い手がない。職業体験現場も激減している。浜益にはポテンシャルがある。不登校生徒の居場所として第 1 次産業等の環境を見に来て、過ごしてみるとか。市全体、企業も民間も含めて困っているところに手を貸す雰囲気盛り上げて頂きたい。
- A6 (議員 A) サポートセンター、担当部所と話し合いを重ねていきたいと思います。
キャリア教育については先進事例を学び、石狩市には伸びしろがあるので拡充を考えていきます。
- A6 (議員 B) 4～5 年前、教育委員会と福祉だけでは解決できないと町内で横断的、総合的組織を作りました。この機能を発揮できるよう提言していきたいと思います。
- A6 (議員 C) 石狩市はスクールソーシャルワーカーが積極的に関わっています。教育機関や民生委員さん等がキャッチしたものはアウトリーチで関わる姿勢が大切なので働きかけていきます。キャリア教育に関しては行政、教育機関の働きかけが弱いことも。ご相談して頂ければ、協力して頂ける方がたくさんいると思います。

議会報告会実施報告書

Q6（再） 学校側の方がコロナだからと自己自粛している現状があるのでは。

学校経営者も発想を変える必要があると思います。

居場所づくりですが川崎市高津区に、子ども夢パーク（NPO）があり年代問わず、いつでもいいよという団体活動があるので先進事例として見学されてもいいのではと思います。

Q7 厚田、浜益は子どもの数が減ってきて、休みの日には友達と遊びたくても車で送ってもらはなくては行けない。民間で子どもが集る、送迎もしてもらえるような場所が必要では。

A7 限られた予算の中ではありますが、リソースを活用しながら教育委員会も含めて市と話し合っていきたいと思います。

他議員 浜益区の0歳～14歳の子どもは60人位です。遊ぶには徒歩、自転車も厳しい。浜益、厚田には放課後児童クラブがない。それをカバーするため学校の放課後教室開放を提案したが利用者が少なかった。その時はそうであっても、条件に合わせた対策が必要であると思います。